



## Interview

開成町に移住して約30年。  
今は迎え入れる立場として、  
新しい町民に寄り添っていききたい



おおやま つるひこ  
大山 鶴彦さん

現在も働きながら、下島自治会長兼自治会長連絡協議会(※)副会長を務めている。  
(※)町内全14自治会の自治会長からなる組織

**今も昔も変わらないもの**  
「家庭を築くため、育みの地として越してきました」と話すのは大山さん。約30年前、鹿児島県から移住しました。

「越してきた当初は、開成駅がポツンとあるだけでね。今はスーパーもあるし、橋もできたし、とても便利です」と町の変化を語る一方、変わらないものもあると言う大山さん。「町が発展して、人口が増えても、街中で挨拶が行き交うのは、今も昔も変わりません。子どもたちもよく挨拶してくれまして。町の良いところの一つです」と教えてくれました。

### 「地元」を楽しもう

現在、大山さんは下島自治会長として、新しい町民を受け入れる立場になりました。「困ったことがあれば、助けになれるように寄り添いたいと思っています」と話します。また、「せっかくだが自治会活動が活発な開成町に来たなら、自治会をとおして『地元』を楽しんでほしいです。新しい町民の方が地域に飛び込むことで、新しい風を吹かせてほしいです。」と願いを教えてくださいました。

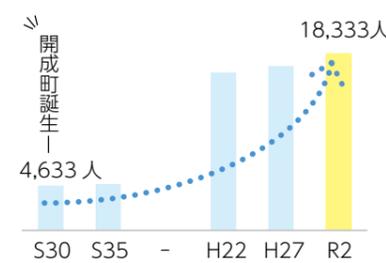
# みんなに聞いた 開成町の ココが好き



あこが憧れや仕事、子育てなど移住のきっかけは人それぞれですが、今回取材した皆さんは、町の豊かな自然や生活のしやすさ、子育て環境、人の温かさに魅力を感じていました。それらの魅力は、私たちが普段、「当たり前」と思っていた町での暮らしの中にあふれているものでした。町の魅力に気付くと、もっと町を好きになりそう。あなたは開成町のどんなところが好きですか？



## POINT



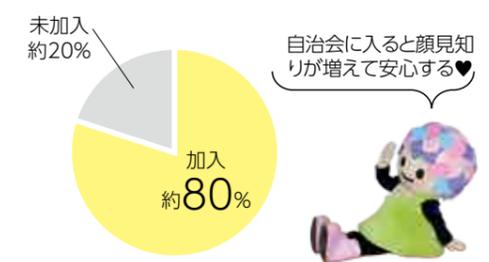
人口増加率県内1位！

全国的に人口減少が続く中、直近の国勢調査で開成町は人口増加率県内1位、全国16位に。町誕生以降、人口が増え続けています。



▲コロナ禍前の自治会夏祭り  
自治会加入率は約80%！

自治会活動が活発な開成町。自治会加入世帯は、約80%と全国と比較して高水準です。イベントで地域住民の交流を深めたり、防災訓練



自治会に入ると顔見知りが増えて安心する♡  
練でいざという時のために、みんなで備えたりしています。地域住民みんなで安全・安心なまちづくりをしています。



(公社) 神奈川県宅地建物取引業協会小田原支部政策推進委員長 / 武相宅建株式会社代表取締役  
あいざわ とおる  
相澤 透さん

## Interview 不動産のプロから見た開成町が選ばれる理由

住まいとして開成町を選ぶ方の年齢層は、非常に幅広いです。若い方は、開成駅が急行停車駅になり、交通の利便性が高くなったことが魅力に、年配の方は、町の平坦な地形が魅力になっているようです。特に最近では、若い方が開成町で開業するための物件探しで来店されることが多いです。人口が増えていることや、おしゃれ

という町の印象から、「開成町がいい」と思われるようですね。「不動産」としてPRしている開成町の良いところの一つに、地盤の固さがあげられます。実際、地震が起きた時、隣接する市町の震度よりも、開成町では、小さい数値が観測されています。様々な自然災害がありますが、開成町は地震に強い町と言えるかもしれません。